

平成28年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：福祉センター錦溪苑

指定管理者名：社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0		
	自主事業収入	0	0	0		
	物品販売収入	0	0	0		
	手数料収入	0	0	0		
	指定管理料	62,733,000	62,733,000	0		
	その他収入	0	0	0		
収入総額		62,733,000	62,733,000	0	0	
支出	人件費	21,322,000	20,747,376	574,624		
	賃金	1,380,000	1,193,442	186,558		
	報償費	771,000	600,805	170,195		
	消耗品費・器具什器費	458,000	1,444,470	(986,470)		
	燃料費	418,000	350,760	67,240		
	印刷製本費	39,000	9,000	30,000		
	光熱水道費	14,400,000	11,327,704	3,072,296		
	修繕費	250,000	2,841,766	(2,591,766)		
	委託料・保守料	17,146,000	17,439,608	(293,608)		
	役務費	645,000	760,767	(115,767)		
	賃借料	5,904,000	5,375,634	528,366		
	支出総額		62,733,000	62,091,332	641,668	0
収支差額		0	641,668	(641,668)	0	0

3. 総合評価

自己評価

- 多様化するニーズに対して、利用者にアンケートを行い、様々な事業を展開し、高齢者の生きがいづくりや、障がい者の外出促進、母子家庭の利用の促進に努めた。（センターまつり、教養講座、ロビーコンサート、センタークラブなど）
- 当事者団体や地域団体で構成する運営委員会を開催し、意見を集約し、事業計画に活かした。
- 理学療法士による健康運動教室や看護師による血圧測定、医師による健康相談（福祉なんでも相談）を行い、健康増進に努めた。
- 施設ボランティアにも取り組み、センターまつり前にスリッパの清掃を行った。
- 河内長野警察署と協働で高齢者などを狙った特殊詐欺が急増していることから、防犯教室を行うとともに、利用者個々にも注意を呼びかけた。さらに防犯教室には、老人クラブ連合会をはじめ、友愛訪問などを行っている地域の団体にも参加を呼びかけ、周知啓発に努めた。
- 保健所からの立ち入り検査の結果、適切に管理されているとの評価を得た。

市評価

- 施設の管理運営に関しては、高齢者等の活動拠点、憩いの場として多くの方々に安全で安心して利用されるように管理運営を行った。また、新規利用者の拡大のため、ホームページの定期的な更新や情報紙の発行など積極的な情報発信に努めた。
- 利用者アンケートを行い、利用者のニーズを把握するとともに、ニーズに合った事業を実施した。
- 施設等の維持管理に関しては、設備の保守・点検、安全確認を適切に行い、修繕等が必要である場合は市と指定管理者で協議をしながら適切に行った。
- 財務状況に関して、指定管理者独自で外部の会計士による検査を実施するとともに、市職員による検査を実施し、収支が適正に行われていることを確認した。
- センター長会議を定期的に行い、指定管理者と市、類似施設のセンター長と情報共有を図れた。
- 施設利用者数が前年度より低くなっているため、利用者増加に向けた新たな取り組みを検討していく。